

南部・東部振興の主な取組

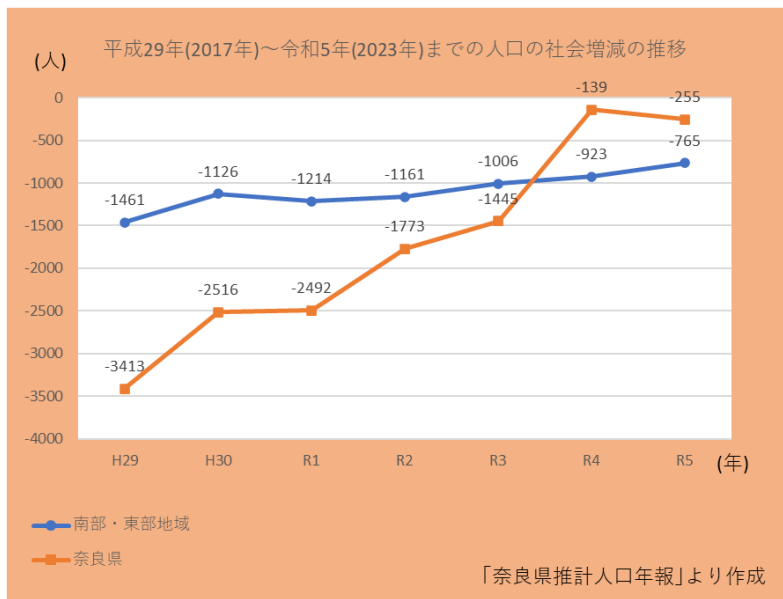
令和6年6月

奈良県



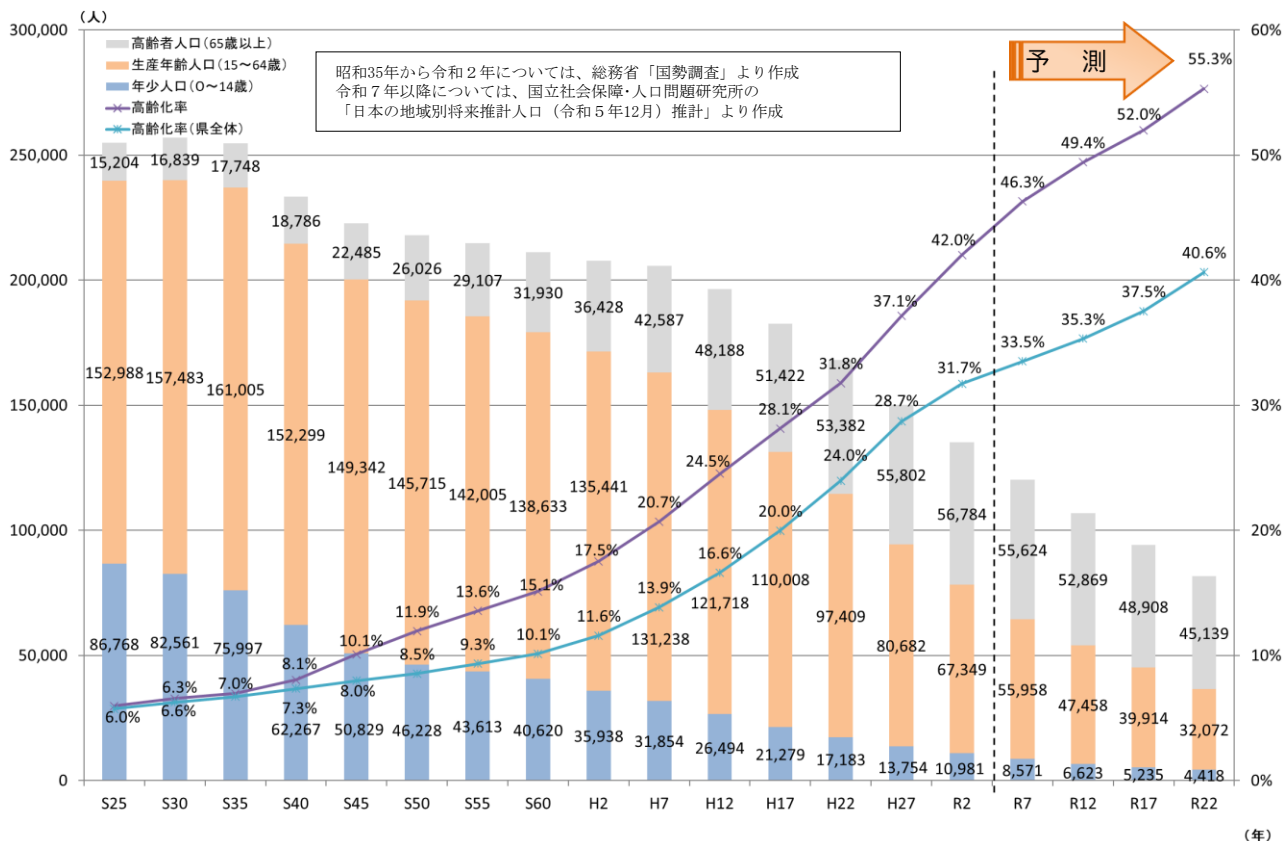
南部・東部地域の現状

平成29年（2017年）～令和5年（2023年）までの人口の社会増減の推移

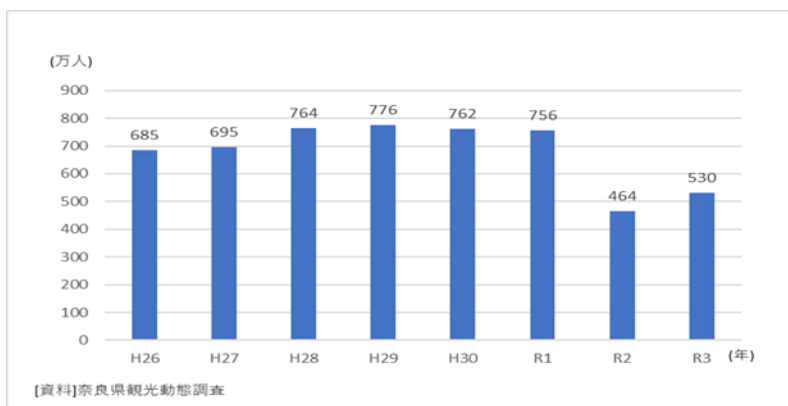


南部・東部地域において、社会的増減はゆるやかに改善しています。

南部・東部地域の人口推移



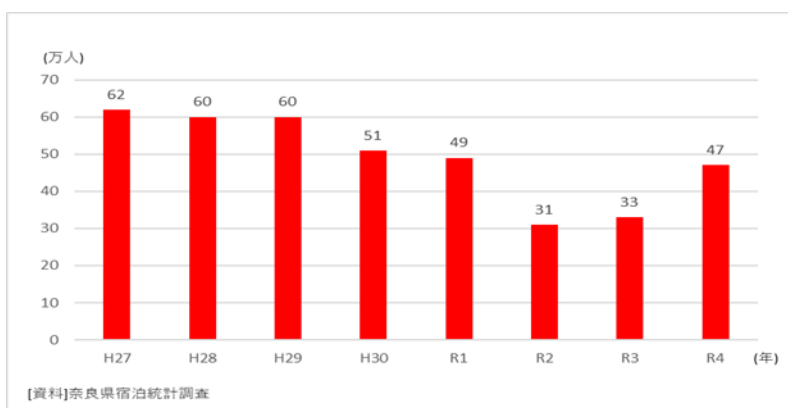
南部・東部地域における観光入込客数の推移



観光入込客数は、概ね横ばいで推移していました。令和2年は新型コロナウイルスの影響を受け、大幅に減少していますが、令和3年はやや回復の傾向がみられました。

※令和4年度実績は現在集計中です

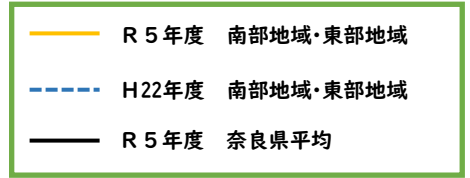
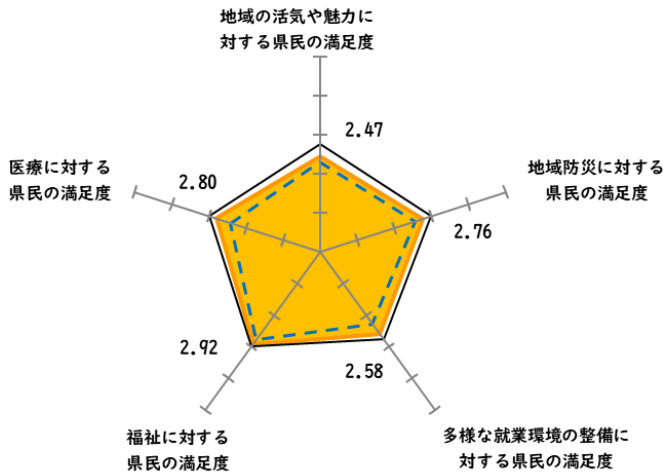
南部・東部地域における宿泊客数の推移



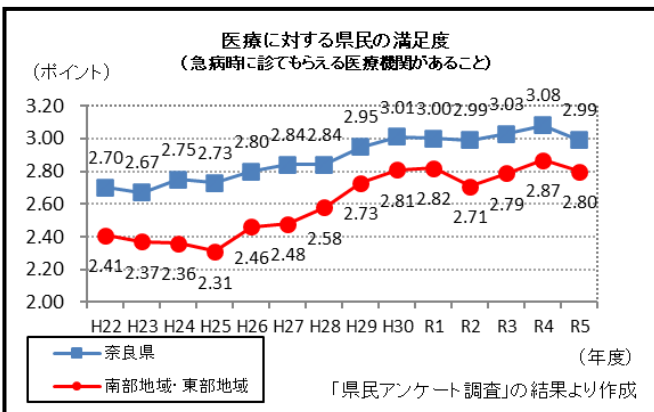
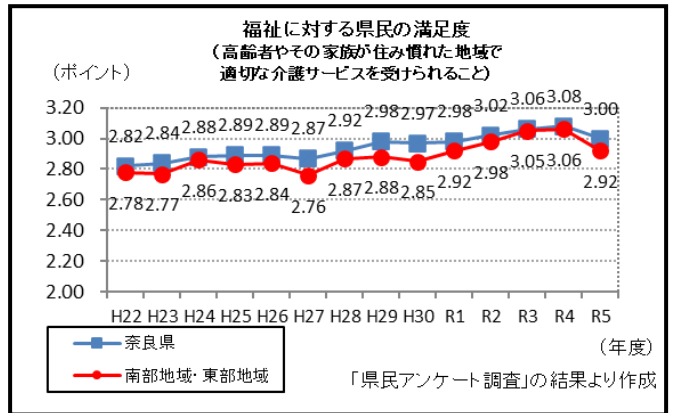
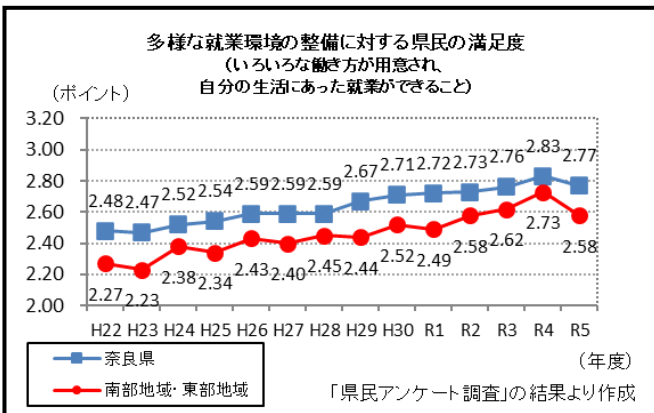
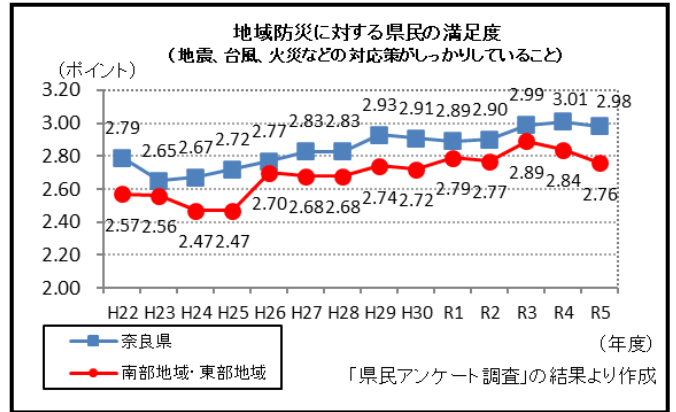
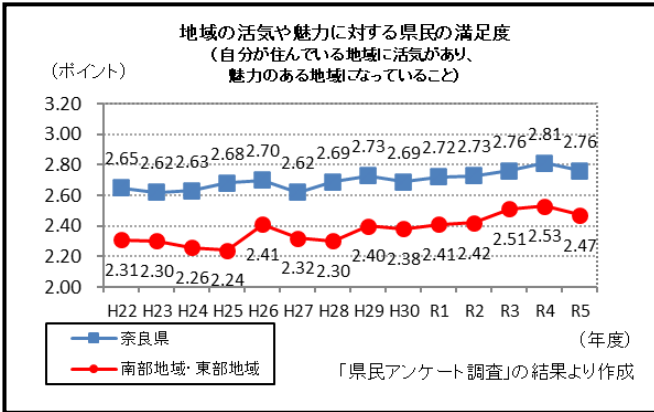
宿泊客数は、令和2年、令和3年は新型コロナウイルスの影響を受け、大幅に減少していましたが、令和4年には新型コロナウイルス前の宿泊者数に戻りつつあります。

南部・東部地域における生活に関する満足度

《現状》



《トレンド》



毎年行われている県民アンケート調査によると、南部地域・東部地域における生活に関する満足度は、令和5年は減少しました。県全体についても、生活に関する満足度が減少しました。

奈良県南部・東部振興基本計画

重点目標

「誇らしい『都』づくり」の実現に向け、南部・東部地域において、住みよい環境づくりを進めるとともに、「働く場」と「働く人」を増やし、人口減少をくい止めることにより、地域の持続的発展を図ります。

- 重点目標を達成するためのK G I（重要目標達成指標）：令和7年度
「南部・東部地域における人口の社会増減」：マイナスからの脱却
- K G Iを達成するためのK P I（重要業績評価指標）：令和7年度

生産年齢人口（15歳以上65歳未満）

社会・人口問題研究所による
令和7年将来人口推計

56,864人

R5実数
61千人

目標

57千人以上
令和7年

観光入込客数

756万人
令和元年

※R3実績
530万人

目標

830万人
令和7年

※令和4年度実績は現在集計中です

宿泊者数

49万人
令和元年

R4実績
47万人

目標

70万人
令和7年

戦略の3本柱

住み続けたいなる、
還りたいなる
地域づくり
(定住の促進)

訪れてみたいなる
地域づくり
(交流の促進)

力強い
市町村づくり

目標を実現するための戦術

戦略

住み続けたいなる、還りたいなる地域づくり（定住の促進）

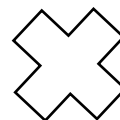
訪れてみたいなる地域づくり（交流の促進）

力強い市町村づくり

戦術

拠点の形成

人材の育成・確保



(南部・東部振興関係)

令和6年度現計予算+令和5年度12月・2月補正予算
59,644百万円 (再掲を除く)

※①現計予算とは、当初予算と4月23日付けで知事専決処分を行った予算の合計額です。
 ②令和5年度12月補正・2月補正とは、国補正に対応するための県の補正予算の額になります。
 以下、予算額は①②の合計額です。

(参考) 令和5年度現計予算+令和4年度2月補正予算 **58,168百万円**

※令和5年度現計予算は、当初予算と6月補正予算の合計額です。

(南部・東部振興のための取組の戦略)

※以下の項目は再掲を含むため合計は上記と一致しません

戦略1 住み続けたくなる、還りたくなる地域づくり (定住の促進)

(1) 働きやすくする (P6)	15,503百万円
・地域経済の活性化 ・食・農・畜産・水産業の振興 ・森林環境管理制度の推進・林業の振興	
(2) 暮らしやすくする (P10)	2,040百万円
・福祉・医療の充実 ・教育・子育て環境の充実 ・道路インフラの整備促進 ・通信インフラの整備促進	
(3) いざというときに備える (P12)	34,360百万円
・防災・減災対策の推進	

戦略2 訪れてみたいとなる地域づくり (交流の促進)

(1) 魅力を知ってもらおう (P16)	1,128百万円
・魅力の創出と情報発信の強化 ・美しい景観づくりの推進	
(2) 魅力を体験してもらおう (P18)	17,000百万円
・滞在型・宿泊型観光の推進 ・地域の魅力を活かした文化・スポーツ・食イベント等の実施	
(3) 移り住んでもらおう (P21)	108百万円
・市町村等と連携した移住・定住支援 ・若者をターゲットとした移住施策の推進	

戦略3 力強い市町村づくり

(1) 「奈良モデル」の実行 (P23)	3,500百万円
・市町村と連携したまちづくりの推進 ・「奈良モデル」の推進	
(2) 市町村行政経営向上への取組支援等 (P24)	3,093百万円
・市町村行政経営向上への取組支援 ・地域デジタル化の推進	

住み続けたいくなる、還りたいくなる地域づくり（定住の促進）

（1）働きやすくする

◇取組内容

- 地域経済の活性化
- 食・農・畜産・水産業の振興
- 森林環境管理制度の推進・林業の振興

【令和6年度 主な取組】

①奥大和雇用創造促進事業【予算 10,676千円】

奥大和地域での魅力ある仕事づくりを推進するため、地域産業のブランド力を向上させる特産品の新規事業開拓及び販路拡大を促進

②企業立地促進補助事業（南部・東部地域振興補助金）【予算 1,000,000千円】

南部・東部地域に立地する企業活力集積促進補助金の対象企業に対し南部・東部地域振興補助金を加算
・加算額 固定資産投資額 5億円以上 10,000千円 10億円以上 20,000千円

③**新**国道169号通行止めにかかる自動車燃料費支援事業【予算 27,170千円】

国道169号の崩土による影響を受けた事業者の事業継続を支援するため、下北山村及び上北山村に事業所を有する中小事業者の自動車燃料費を支援

④制度融資 創業資金（南部・東部枠）【予算 8,630千円】

融資限度額 設備・運転 15,000千円 融資利率 0.0%
融資期間 7年（うち1年据置） 保証料を県が全額負担
融資枠 2億

⑤**新**奈良県農産物等輸出推進事業【予算 42,703千円】

県産農産物等の海外への販路開拓・拡大を推進

- ・輸出先国でのプロモーション
- ・有望な輸出先国の検索
- ・商談会等での販路拡大支援
- ・輸出セミナー・個別相談会の開催

⑥鳥獣被害防止対策事業【予算 351,022千円】

被害防止計画に基づき市町村が実施する鳥獣被害防止対策に対し補助

- ・被害防除の研修、捕獲活動、緩衝帯整備等
 - ・地域が一体となった侵入防止柵等の整備
- 集落ぐるみの被害防止対策活動を推進

⑦リーディング品目支援事業【予算 6,174千円】

本県農業を牽引するリーディング品目の産地生産力・品質の向上、ブランド力強化、消費拡大を推進

次世代に継承できる柿産地振興事業

高級大和茶生産販売促進事業

- ・米国向け輸出茶生産支援およびE U向けに輸出可能な生産方法の検討

⑧チャレンジ品目支援事業【予算 2,414千円】

将来の成長品目として選定したチャレンジ品目の生産・流通・販売・組織化を支援

花木産地活性化支援事業

- ・新規有望品目の導入支援、輸出重点品目の現地試験圃の設置と市場ニーズ調査

住み続けたいくなる、還りたいくなる地域づくり（定住の促進）

（1）働きやすくする

◇取組内容

- 地域経済の活性化
- 食・農・畜産・水産業の振興
- 森林環境管理制度の推進・林業の振興

【令和6年度 主な取組】

⑨農地マネジメント推進事業【予算 94,407千円】

- ・担い手への農地集積を推進するため、（公財）なら担い手・農地サポートセンターによる農地の出し手・受け手のマッチングを実施
- ・センターが実施する農地の賃借による担い手への農地集積
- ・一定割合以上の農地を貸し付ける地域や貸付けにより離農・経営転換する者等に対し、協力金を交付

⑩県営畑地帯総合整備事業【予算 416,850千円】

県内の主要産地において、経営規模拡大、生産の効率化のため、パイプライン等の整備

⑪多面的機能支払事業【予算 282,628千円】

- ・農地及び農業用施設の地域資源の適切な保全管理活動や多面的機能の維持管理のための取組等を地域ぐるみで行う活動組織に対し、国の制度と連動し、交付金を交付
- ・農業生産資源の基礎的保全活動や多面的機能の維持・発揮を支える共同活動への交付

⑫奈良県フォレスターアカデミー運営推進事業【予算 161,530千円】

奈良県フォレスターアカデミーの運営管理

- ・外部講師の招へい、インターンシップの実施
- ・森林教育カリキュラムの検討見直し
- ・学生募集、オープンキャンパスの開催
- ・集材システムの技術普及
- ・就業準備給付金の給付 等

⑬奈良県木材生産推進事業【予算 337,000千円】

木材安定供給団地において、長期間使用できる壊れにくい作業道の重点開設等による木材生産拡大への取組に対し補助

- ・奈良型作業道重点開設
- ・木材生産強化（利用間伐）

⑭海外販路拡大事業【予算 10,600千円】

海外に向けた販路開拓

- ・アドバイザーを活用した海外の建築関係者へのPR活動
- ・海外販路拡大に取り組む事業者の支援
- ・県産材の輸出事業計画を策定し、計画の達成に向けて取り組む団体・事業者に対し補助 等

⑮奈良の木販路拡大事業【予算 6,000千円】

首都圏等に向けた販路開拓

- ・展示商談会等への出展
- ・県内木材関係事業者紹介パンフレット（改定版）の制作
- ・建築関係者へのセールス活動および奈良県林業・木材産業視察ツアーの実施

⑯新たな森林環境管理制度担い手確保事業【予算 1,300千円】

林業への就業促進のため無料職業紹介所を設置し、新たな森林環境管理制度の構築・推進を担う新規就業者の掘り起こしや県内林業事業者とのマッチングを実施

住み続けたいくなる、還りたくなる地域づくり（定住の促進）

（1）働きやすくする

R5年度
取組

- 地域経済の活性化 ○食・農・畜産・水産業の振興
- 森林環境管理制度の推進・林業の振興

○意欲のある素材生産者への施業提案

- ・施業提案森林において木材生産を実施
6団地・2市村（宇陀市・御杖村）
- ・森林経営管理制度に関する市町村支援を実施
全市町村 165回（うち南部・東部地域市町村 81回）



木材関連展示商談会における奈良の木のPR

○県産材の利用促進

- ・木材関連展示商談会（東京都）への出展（2回）
- ・木材加工流通設備の導入を支援
- ・木造建築の設計・施工に携わる技術者養成講座の開催

○食用きのこの人工栽培技術の開発

バカマツタケの林内での定着ときのこの発生、試験地の継続調査



バカマツタケの林内での発生

○漢方プロジェクトの推進

- ・薬用作物栽培の省力化支援、販路拡大支援等を実施
- ・キハダ葉、実を用いた漢方関連品・製品の研究を実施
- ・キハダの育苗と利用について研究を実施
- ・企業版ふるさと納税を活用した研究機器の充実

○奈良県産スギ材を用いた楽器の開発

- ・スギ弦楽器を用いた県産優良材のPR活動（展示、演奏会など）
- ・民間での吉野スギを用いた楽器製作の支援



キハダの木材利用にかかる研究

○木材の利用、森林・林業の試験研究及び技術開発

奈良県産スギ黒心材の屋外耐朽性評価、吉野林業地への集材機の導入、など9課題について、調査・研究を継続的に実施

○御所IC工業団地の形成を推進

令和6年3月に、御所東高校跡地を対象とした第1期企業募集を開始



京奈和自動車道御所IC周辺

○制度融資 創業資金（南部・東部枠）

- ・実績 10件 飲食、サービス ほか

住み続けたいくなる、還りたいくなる地域づくり（定住の促進）

（1）働きやすくする

R5年度
取組

- 地域経済の活性化 ○食・農・畜産・水産業の振興
- 森林環境管理制度の推進・林業の振興

○チャレンジ品目、リーディング品目等への支援

- ・花木：新規品目「ユーカリ」等の導入支援（80a）
- ・柿：摘蕾・摘果の省力化技術の実証（現地圃場2カ所）
- ・茶：米国向け輸出茶生産支援（7団体）、耕作放棄茶園再生マニュアルを作成
- ・アマゴ：産卵場造成、卵及び親魚の放流
- ・アユ：健全な種苗の養成及び放流



ユーカリ



ミモザ

○首都圏等への県産農産物の販路拡大

- ・卸売市場、首都圏小売店での奈良の柿のPR
- ・高級果実専門店での消費喚起販売会の実施
- ・まほろば館での販売会・体験型イベントの実施
- ・首都圏のイチゴイベントでの県産イチゴのPR



まほろば館での県産農産物を使った体験型イベント

○「奈良県の宝物」セミナー・グランプリを実施

奥大和地域の生産者、加工・販売者等が異分野人材と協業し、商品の成長、事業者の成長を促すプロジェクトを実施

○農地マネジメントの推進

県、なら担い手・農地サポートセンター、市町村、農業委員会をメンバーとする農地マネジメントチームにより、担い手への農地のマッチング活動を実施

※南部・東部地域で96.4haのマッチングを実施



農地の貸し借り（マッチング）を実施する農地中間管理事業制度をPR

○総合的な鳥獣被害対策の支援

- ・被害状況調査（4月～6月）
- ・若手狩猟者確保のための各種活動実施（4月～3月）
- ・各市町村が実施する鳥獣被害防止対策に対し補助（国交付金、県補助金）
- ・人材育成のための講習会開催（5月～3月）
- ・ならジビエ料理フェアの開催（12月～2月）
- ・狩猟免許試験の実施による狩猟者の確保（7月～12月）



捕獲現地研修

住み続けたいくなる、還りたいくなる地域づくり（定住の促進）

（2）暮らしやすくする

◇取組内容

- 福祉・医療の充実
- 教育・子育て環境の充実
- 道路インフラの整備促進
- 通信インフラの整備促進

【令和6年度 主な取組】

① 支え合いの地域づくり推進事業【予算 14,659千円】

南和地域における広域相談支援体制構築のモデル実施等

② 在宅医療・介護連携推進事業【予算 7,700千円】

・市町村における在宅医療・介護連携推進に関する協議の場の立ち上げ及び効果的な運用に向けた支援を実施
・自立支援・重度化防止を地域に普及させるため、県から市町村等へタブレット端末を貸し出し、リハビリ専門職等から市町村等へ助言が出来る仕組みを構築

③ ドクターヘリ運航推進事業【予算 348,439千円】

県独自のドクターヘリ運航に要する費用に対し補助
消防機関や国・他府県等、関係機関との調整
・実施主体 奈良県立医科大学附属病院、南奈良総合医療センター

④ 自治医科大学運営費負担金【予算 128,400千円】

在学生 14名 卒業生 102名（現在46期生まで）
自治医大卒業医師等の派遣 へき地診療所等派遣人員9名

⑤ へき地診療所医師確保支援事業（へき地診療所への人件費補助）【予算 5,665千円】

補助対象 へき地診療所に勤務する医師に係る人件費（自治医大卒業医師等を除く）
実施主体 山添村、御杖村、十津川村、川上村
補助上限 2,400千円

⑥ 南和地域公立病院整備支援事業【予算 111,437千円】

南和広域医療企業団による南和地域公立病院整備への支援
・企業団構成市町村に対する起債償還金補助

⑦ 南部地域におけるへき地教育振興事業【予算 2,891千円】

へき地の拠点校等に常勤の専科教員等を共同配置し、近隣校を巡回して授業等を実施する市町村に対し補助

⑧ 複式学級編成基準の改善【予算 90,637千円】

国の学級編成基準の標準を上回る県基準で小学校、中学校の教員を加配

⑨ 奈良県基幹公共交通ネットワーク確保事業【予算 227,946千円】

・利用目的に応じた交通サービスを確保するため、広域の路線バス等の運行に対し補助
・市町村連携による複数市町村をまたぐコミュニティバス等の運行に対し補助

⑩ 南部・東部地域デジタル化支援事業【予算 5,000千円】

地域の課題やニーズに応じたデジタルサービスを地域住民等が体感できる場として「奥大和デジタルメッセ」を開催し、コミュニティの活性化や地域振興に寄与するデジタル化を促進

住み続けたいくなる、還りたいくなる地域づくり（定住の促進）

（2）暮らしやすくする

R5年度
取組

- 福祉・医療の充実
- 教育・子育て環境の充実
- 道路インフラの整備促進
- 通信インフラの整備促進

○介護予防・日常生活支援の充実

市町村職員の地域マネジメント力向上を支援するため、総合事業充実のノウハウを有するアドバイザーによる支援を実施（南和地域 12市町村）

○東和及び南和の地域包括支援センターで構成する連絡会の運営支援

・東和連絡会（9市町村）2回支援 ・南和連絡会（12市町村）11回支援

○地域ケア会議を活用して自立支援に取り組む市町村への支援

市町村における地域ケア会議の機能充実にに向けた取組（多様な専門職の参画等）の支援を実施
研修会 県内21市町村を含む106名参加（うち南部・東部地域8市町村 21名参加）

○南和地域における地域ケアカンファレンス支援モデル事業

南和地域における複雑化・複合化した課題の解決に向けた広域相談支援体制の構築を進めるため、保健師・精神保健福祉士等による支援チームを新たに編成し、南和地域の市町村における困難事案等について、市町村とともに解決を目指して活動を実施

○ドクターヘリの運航

ドクターヘリ出動件数 県全体 456件
（うち南部地域 193件、東部地域 70件）



ドクターヘリ

○奥大和コミュニティナース育成事業

住民の安心や健康意識の向上を目指し、地域で活動を行う「コミュニティナース」人材の普及・育成のための講座及びWEBサイトの更新を実施

受講者 29名

活動市町村 大淀町、天川村、東吉野村等



コミュニティナース講座

○地域産業を支える人材の育成に必要な備品の整備

職業教育に必要な実習備品を整備

・御所実業高校 ドラフター一式



ドラフター一式（御所実業高校）
（※ドラフターとは、製図で用いられる机のこと）

住み続けたいくなる、還りたいくなる地域づくり（定住の促進）

（3）いざというときに備える

◇取組内容

○防災・減災対策の推進

【令和6年度 主な取組】

①総合防災体制基本構想策定事業【予算 54,664千円】

大規模かつ広範囲な災害に迅速かつ円滑な対応を図るため、有識者会議等において、五條市と橿原市を中心として、県全体の防災体制を総合的に検討

②スマートハウス普及促進事業【予算 50,000千円】

緊急時のエネルギー対策及び省エネ対策のため、住宅等へ創エネ・蓄エネ設備を設置する県民に対し補助

③混交林誘導整備事業【予算 487,927千円】

防災力の高い森林に誘導するため、地域の特性に応じた広葉樹等の植栽、周辺の間伐及び伐採木の搬出を一体的に実施

・実施場所 十津川村外20市町村（事業量 511ha）

④治山事業【予算 834,049千円】

自然現象に起因する山地災害の復旧と未然防止のための施設整備、良質な水や安全な生活を確保するため、水源のかん養や国土保全機能が低下した保安林において森林整備等を推進

・山地治山 14カ所

⑤直轄道路事業費負担金【予算 8,210,000千円】

事業実施箇所

・京奈和自動車道、大和御所道路 ほか

・国道168号 長殿道路、風屋川津・宇宮原工区、十津川道路（Ⅱ期）

・国道169号 伯母峯峠道路

⑥道路改良事業【予算 2,102,704千円】

地域の安全・安心を支え、企業立地・観光振興等に資する道路整備の促進

事業実施箇所

・国道309号 北角工区、国道425号 重里～迫西川工区、吉野室生寺針線、橿原新庄線、

吉野東吉野線、五條吉野線、高野天川線、赤滝五條線、下市宗桧線、上池原下桑原線 ほか

⑦骨格幹線道路ネットワークの整備推進【予算 1,425,900千円】

事業実施箇所

国道168号新天辻工区、阪本工区、国道169号御所高取バイパス、国道169号高取バイパス ほか

⑧道路改良等基礎調査【予算 74,000千円】

道路網整備の必要性等の調査

⑨道路施設老朽化対策事業（南部・東部）【予算 3,556,519千円】

長寿命化修繕計画に基づく補修・修繕を実施

・国道168号金比羅橋外67橋

・国道168号小代下トンネル外26トンネル

住み続けたいくなる、還りたいくなる地域づくり（定住の促進）

（3）いざというときに備える

◇取組内容

○防災・減災対策の推進

【令和6年度 主な取組】

⑩道路災害防除事業（南部・東部）【予算 2,335,332千円】

道路斜面で崩落等の兆候がある箇所や、法面の危険度、路線の重要度等を総合的に判断して対策を優先すべき箇所で法面・落石の防災対策を実施
・国道168号外13路線

⑪橋りょう耐震補強事業（南部・東部）【予算 443,070千円】

耐震補強が必要な緊急輸送道路の橋りょうの耐震対策を重点実施
・国道169号清涼橋外4橋

⑫道路施設点検・診断事業（南部・東部）【予算 182,700千円】

効率的・効果的な補修・修繕を実施するため、橋りょう・トンネル等の点検を実施

⑬南部東部地域河川改良事業【予算 1,779,825千円】

南部・東部地域における治水安全度の向上を図るため、河川改良を実施
・紀の川、町並川外54河川

⑭直轄河川事業費負担金（南部・東部）【予算 1,618,366千円】

紀伊山系における大規模土砂災害対策等、紀の川における河川整備

⑮通常砂防事業【予算 1,547,497千円】

砂防設備の設置により、土石流等による被害から人家等を保全
・補助事業 下北山村上池原外46カ所
・単独事業 五條市生子町外7カ所

住み続けたいくなる、還りたくなる地域づくり（定住の促進）

（3）いざというときに備える

R5年度
取組

○防災・減災対策の推進

○五條新宮道路の整備推進（国道168号）

紀伊半島アンカールートを形成する「五條新宮道路」の早期整備

事業実施箇所 新天辻工区、阪本工区

○災害に強い道路ネットワークの整備推進

事業実施箇所

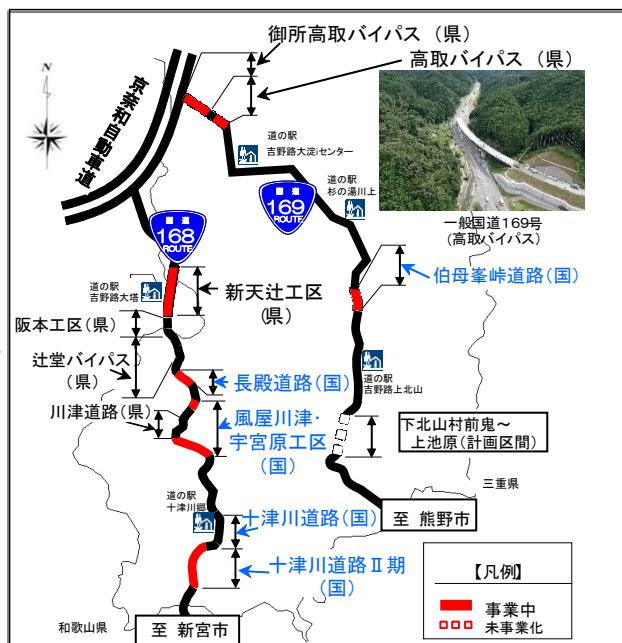
国道169号御所高取バイパス、国道169号高取バイパス、五條吉野線、高野天川線、赤滝五條線 ほか

○道路施設の老朽化対策

橋りょう、トンネル等の老朽化対策の推進

橋りょう 国道168号金比羅橋 ほか

トンネル 国道168号小代下トンネル ほか



○道路防災対策

法面や路肩の道路防災対策の推進

国道168号（十津川村折立） ほか



一般国道168号（五條新宮道路）
阪本工区
（五條市大塔町阪本内）
【R6年3月 開通】

○市町村管理道路施設の老朽化対策

市町村が管理する道路施設の点検・診断及び修繕工事を垂直補完・水平補完により支援

《道路防災対策》 国道168号（十津川村折立）



住み続けたいくなる、還りたくなる地域づくり（定住の促進）

（3）いざというときに備える

R5年度
取組

○防災・減災対策の推進

○治山事業による復旧

- ・県実施箇所51カ所のうち50カ所完了、残り1カ所
- ・国実施箇所25カ所のうち13カ所完了、残り12カ所



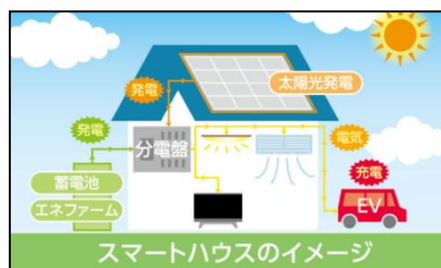
民有林直轄治山事業 十津川村五百瀬



復旧治山事業 川上村高原

○スマートハウスの普及を促進

- ・普及実績 212件（うち南部・東部地域 22件）



○自主防災組織の活性化、防災教育・啓発の推進

- ・自主防災リーダーの養成 研修修了者 302名（うち南部・東部地域 20名参加）



防災気象講演会

○施業放置林の整備

- ・防災力の高い森林に誘導するため、地域の特性に応じた広葉樹等を植栽するとともに、周辺の間伐を一体的に実施
（全体計画）
県内21市町村 140ha（うち南部・東部地域15市町村 105ha）

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（1）魅力を知ってもらう

◇取組内容

- 魅力の創出と情報発信の強化
- 美しい景観づくりの推進

【令和6年度 主な取組】

- ① **①新 産官学連携による魅力ある地域づくり支援事業【予算 50,000千円】**
魅力ある地域づくりを進めるため、市町村と大学・民間事業者等が連携して取り組む事業に対し補助
- ② **②新 万博を契機とした奥大和への周遊型観光促進事業【予算 13,615千円】**
2025年大阪・関西万博の来場者を奥大和地域へ誘客するため、奥大和固有の地域資源を活かした体験型コンテンツの造成やモニターツアー、海外への情報発信を実施
- ③ **③奥大和プロモーション事業【予算 9,750千円】**
様々な媒体・手法を用いた奥大和の魅力発信
・奥大和が有する文化や自然、産業など、奥大和特有の地域資源に焦点を当てた映像の制作・配信 等
- ④ **④うだ・アニマルパークを拠点とした東部地域魅力発信強化事業【予算 2,114千円】**
東部地域の市村と連携し、うだ・アニマルパークで東部地域の魅力を発信
・「食」のイベントの開催や東部地域1市4村のプロモーション等を実施
- ⑤ **⑤世界遺産登録推進事業【予算 23,377千円】**
「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録の推進や、県内・首都圏での普及啓発事業を実施
- ⑥ **⑥「吉野・高野・熊野の国」三県共同事業【予算 3,732千円】**
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を活用し、三重県・和歌山県とともに誘客のための共同事業を実施
- ⑦ **⑦観光地域づくり推進事業【予算 131,500千円】**
県内における実践的かつ効果的な観光地域づくりを推進
・県内複数エリアを対象とした観光地域づくりを実施
・国連世界機関（UNWTO）と連携し、地域の持続可能な観光や食・食文化を活かした観光等の取組を推進
- ⑧ **⑧奈良県観光キャンペーン事業【予算 160,500千円】**
大阪・関西万博2025に向けた誘客促進プロモーション、世界遺産を絡めた誘客プロモーション、ガストロノミーツーリズムの促進など、積極的な広報展開を実施
- ⑨ **⑨新市場開拓キャンペーン事業【予算 11,388千円】**
・SNSを通じて奈良の魅力を海外に継続的に発信し、潜在的な訪奈良需要の喚起、誘客を促進
・中華圏市場向けコーディネーターを設置し、活動等を実施
- ⑩ **⑩新 三村の「食」応援事業【予算 6,700千円】**
国道169号等の崩土により、深刻な影響を受けている下北山村、上北山村、川上村を応援するため、3村の食材を活用した飲食店等のフェアや、アンテナショップ・直売所での販売促進等を実施

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（1）魅力を知ってもらう

R5年度
取組

○魅力の創出と情報発信の強化

○美しい景観づくりの推進

○奥大和地域での暮らしや文化を通じた関係人口を創出

- ・河瀬直美監督を起用し制作した、奥大和の暮らしや仕事をテーマにした動画「美しき日本 奈良」（撮影地 宇陀市、曽爾村、野迫川村）をYouTubeで配信
- ・ドローンを活用し、普段見ることができない視点で奥大和地域の魅力を撮影した動画「空から見た奥大和」（撮影地 大淀町、下市町）の制作



「美しき日本 奈良」



「空から見た奥大和」

○うだ・アニマルパークの誘客促進

関係人口の増加を図るため、県東部地域の魅力を活かしたイベントを開催

- ・「ほんのりあんどん」 8月25日～26日 来園者4,000名
- ・「ぱくぱくパーク」 11月26日 来園者2,000名
- ・「マルシェド・ママン」 3月10日 来園者2,400名
- ・「わくわく春色day」 3月20日 来園者400名



ほんのりあんどん

（アニマルパーク）

○観光情報発信事業

県内外の主要駅や集客施設等に設置しているデジタルサイネージを活用し、県内各地の観光情報を提供

放映場所 図書情報館、イオンモール大和郡山、JR王寺駅 ほか
これまでの実績

- ・野迫川村 「雲海」
- ・天川村 「洞川温泉」
- ・黒滝村 「道の駅」
- ・十津川村 「清納の滝」

ほか



デジタルサイネージによる
情報発信（天川村）

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（2）魅力を体験してもらう

◇取組内容

- 滞在型・宿泊型観光の推進
- 地域の魅力を活かした文化・スポーツ・食イベント等の実施

【令和6年度 主な取組】

① 光熱費等高騰対策事業（宿泊施設）【予算 75,790千円】

電力・ガス・食料品等価格高騰の影響を受けている県内宿泊事業者の事業継続を支援
なお、国道169号の崩土により、影響を受けている下北山村及び上北山村の宿泊施設に対しては、支援金額を上乗せ

② ⑧ 三村宿泊等促進キャンペーン事業【予算 63,000千円】

国道169号の崩土により、影響を受けている下北山村・上北山村・川上村の観光需要を喚起するため3村を対象とした宿泊キャンペーンを実施

③ 奥大和ガストロノミー・ツーリズム事業【予算 3,914千円】

ガストロノミーをテーマに、奥大和地域のポテンシャルを活かしたツーリズムや関係人口創出イベント等を開催

④ ⑧ 奥大和アウトドア・スポーツ・ツーリズム推進事業【予算 30,000千円】

アウトドアアクティビティ等を組み合わせたスポーツ・ツーリズムを推進するための施策を戦略的・計画的に展開するため、ロードマップの作成やモデル事業を実施

⑤ 鉄道事業者と連携した奥大和の魅力発信事業【予算 20,000千円】

鉄道事業者と連携して、奥大和地域の魅力を発信する宿泊旅行商品を造成・PR
連携先 近畿日本鉄道、J R西日本

⑥ サイクルスポーツイベント開催支援事業【予算 1,360千円】

サイクルスポーツ及び地域の振興を図るため、地勢等を活かしたスポーツイベントの開催経費の一部を負担
ヒルクライム大台ヶ原since2001
時期 令和6年9月7日（受付）、8日（競技）
場所 上北山村（大台ヶ原ドライブウェイ）

⑦ 「うまし奈良めぐり」推進事業【予算 12,000千円】

全国からの誘客を促進するため、奈良でしか体験できない高付加価値旅行商品を造成するとともに、全国の旅行会社等での商品展開を図り、奈良の魅力を全国に発信
・県内社寺等における特別企画イベントの実施
・鉄道事業者やW E B等の広報媒体を活用した広域広報

⑧ ガストロノミー推進事業【予算 10,670千円】

県内各地域で美味しい「食」の魅力づくりを推進して、食による滞在周遊型の誘客に繋げる
・ガストロノミーモニターツアーの開催
・PR動画作成と情報発信
・県内オーベルジュ等の情報発信

⑨ 地域での食育の推進事業【予算 214千円】

地域での食育の取組を支援
・こども園での食農体験
・こども園での給食を通じた食育教室
・地域の人に学ぶ「季節の手仕事体験」

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（2）魅力を体験してもらう

R5年度
取組

- 滞在型・宿泊型観光の推進
- 地域の魅力を活かした文化・スポーツ・食イベント等の実施

○農村資源を活用した農村地域づくり

農村景観や特産物など魅力ある地域資源を活用した活動団体に対して、

- ①研修会の開催
- ②情報発信
- ③活動の支援 を実施



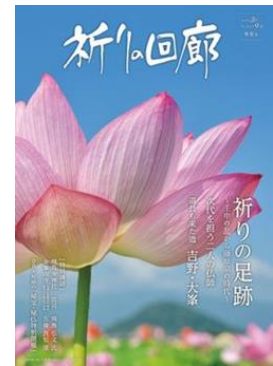
宿泊施設増改築・設備整備支援資金活用事例（川上村）

○宿泊施設への支援

県内の既存宿泊施設の増築・改築及び設備を設置する宿泊事業者に対し利子補給補助

○社寺等と連携した周遊の促進

滞在型周遊型観光の拡大に向けた取組を展開
・「祈りの回廊」パンフレット、スマートフォンアプリ等により、南部・東部地域への誘客を促進



祈りの回廊

○サイクルスポーツイベント開催支援事業

- ・モバイルグランfondin奈良・吉野（4月29日～12月31日）
スマートフォンを活用して、奥大和地域をはじめとする県内各地に設けた88カ所のチェックポイントを巡るサイクルイベント 参加者 592名
- ・ツアー・オブ・奈良・まほろば（8月26日～27日）
宇陀市、山添村、曾爾村、御杖村、東吉野村、奈良市東部の豊かな自然、起伏に富んだ地勢、良好な景観など、地域の観光資源を活用したサイクルイベント 参加者 161名



曾爾村



山添村

○奥大和ガストロノミーツーリズム事業

ガストロノミーをテーマに、奥大和地域のポテンシャルを活かしたツーリズムや関係人口創出イベント等を開催

（御所市、山添村、天川村、下北山村、川上村で実施）



特産の猪を使用した突進鍋（下北山村）

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（2）魅力を体験してもらう

R5年度
取組

- 滞在型・宿泊型観光の推進
- 地域の魅力を活かした文化・スポーツ・食イベント等の実施

○奥大和の特色を活かしたイベントを開催

弘法大師の道を活用したトレイルランニングイベント「Kobo Trail 2023」を開催

- ・期間 5月20日～21日
- ・会場 吉野町・天川村～高野山



Kobo Trail

○奥大和地域誘客イベントを開催

奥大和地域を舞台にした歩く芸術祭「MIND TRAIL」を開催

- ・期間 9月16日～11月12日
- ・会場 吉野町、下市町、下北山村



MIND TRAIL



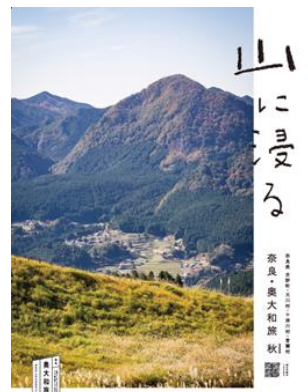
○鉄道事業者と連携し、奥大和地域の魅力を発信

近畿日本鉄道との連携

- ・「秋」「冬」の奥大和、「MIND TRAIL」をテーマに旅行商品化
- ・旅行商品のポスター及びチラシの制作
- ・大阪阿部野橋駅構内で奥大和フェアを開催
- ・広報物の近鉄駅構内掲出

JR西日本との連携

- ・旅行商品の造成・広報パンフレット、魅力発信ポスターの制作
- ・JR大阪駅内広場にて奥大和地域のPRイベントを開催
- ・誘客・周遊促進アプリ「ココシルなら奥大和」の運用
- ・JR大阪駅、新大阪駅、三宮駅、京都駅等でのデジタルサイネージへの掲出



旅行商品PRポスター

○「うまし奈良めぐり」推進事業

奈良を楽しむ特別企画（うまし奈良めぐり）を開催

- ・吉野神宮（6月1日～3月31日）
- ・金峯山寺（7月30日、3月4日）
- ・壺阪寺（2月11日、3月26日）



吉野神宮「ご本殿特別昇殿参拝と“願い札づくり”や“お守りチャームづくり”」

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（3）移り住んでもらう

◇取組内容

- 市町村等と連携した移住・定住支援
- 若者をターゲットとした移住施策の推進

【令和6年度 主な取組】

①南部・東部地域デジタル化支援事業【予算 5,000千円】再掲

地域の課題やニーズに応じたデジタルサービスを地域住民等が体感できる場として「奥大和デジタルメッセ」を開催し、コミュニティの活性化や地域振興に寄与するデジタル化を促進

②奥大和移住・定住促進事業【予算 45,097千円】

奥大和地域の移住相談体制や地域受入体制、移住者拠点施設等の整備を進めるとともに、同地域の生活環境を向上させることにより、移住・定住を促進

- ・奥大和地域19市町村と協働で設置した「奥大和移住・定住連携協議会」で統一的な移住・定住施策を実施
- ・奥大和地域の暮らしや人々との関わりを体感する移住体験プログラムの実施

③(新)engawa運営プロジェクト【予算 29,513千円】

奥大和移住定住交流センターを拠点として、地域活力の向上や移住定住支援、地域課題解決に向けた取組を総合的に実施

- ・奥大和地域内の各拠点で活躍するリーダーの発掘・育成を行う伴走型支援プログラム
- ・奥大和地域外からの収入につなげる民間事業創出の促進
- ・学生向け奥大和体験プログラム
- ・移住定住情報の発信

④奥大和雇用創造促進事業【予算 10,676千円】再掲

奥大和地域での魅力ある仕事づくりを推進するため、地域産業のブランド力を向上させる特産品の新規事業開拓及び販路拡大を促進

⑤新たな森林環境管理制度担い手確保事業【予算 1,300千円】再掲

林業への就業促進のため無料職業紹介所を設置し、新たな森林環境管理制度の構築・推進を担う新規就業者の掘り起こしや県内林業事業者とのマッチングを実施

⑥農業新規参入者支援事業【予算 4,449千円】

新規就農希望者に対し、なら食と農の魅力創造国際大学校での基礎研修及び農家受入による実践研修を実施

訪れてみたくなる地域づくり（交流の促進）

（3）移り住んでもらう

R5年度
取組

- 市町村等と連携した移住定住支援
- 若者をターゲットとした移住施策の推進

○移住者の交流拠点の運営

- ・奥大和移住定住交流センター「engawa」に移住・定住相談窓口を設置し情報提供を実施



奥大和移住定住交流センター「engawa」

○移住、二地域居住及び定住に向けた活動

- ・地域受入協議会の活動を支援 宇陀市 2 件・吉野町 1 件

○移住促進施設の整備

- ・市町村が実施する移住促進施設の整備に係る支援 下北山村 1 件



移住促進施設の整備（下北山村）

○奥大和移住・定住連携協議会の運営

- ・地域住民を対象に移住情報や地域の魅力を掲載した「深深」を2月に発行
- ・奥大和地域の各市町村職員と協働で、東京の奈良まほろば館及び大阪ふるさと暮らし情報センターにおいて奥大和地域に関心を持つ方向けのワークショップ・交流・移住相談イベントを実施（9月・3月）
参加者 のべ75名
- ・市町村担当者を対象に地方進出に関心のある企業に向けた、サテライトオフィス誘致セミナー及びマッチングイベントを開催
- ・フジテレビ解説委員によるプレスリリース対応力強化研修会の開催



地域住民向け「深深」

○奥大和で活躍する人材の育成

- ・奥大和コミュニティマネージャー育成プログラム
奥大和の地域活性やビジネス創出の旗振り役となる人材を発掘・育成するための伴走型支援プログラムを実施

対象者 それぞれの地域でプレーヤーとして活動する方
新たに地域活動に挑戦したい方
参加者 11名



奈良まほろば館でのワークショップ

力強い市町村づくり

(1) 「奈良モデル」の実行

◇取組内容

○市町村と連携したまちづくりの推進

○「奈良モデル」の推進

【令和6年度 主な取組】

①市町村とのまちづくり連携推進事業（南部・東部地域）【予算 16,168千円】

まちづくりを進めている市町村と段階的に連携協定を締結し、協働してまちづくりを推進するため、市町村の取組に対し補助

・五條市、御所市、宇陀市、山添村、黒滝村、川上村

②都市計画区域等のあり方検討事業【予算 20,000千円】

人口減少などの社会情勢の変化に応じた今後の都市計画区域等のあり方を検討

③デジタル版奈良モデル推進事業【予算 20,000千円】

入札参加資格審査手続の標準化・共同化に関する調査研究を実施し、各市町村の業務効率化を支援

④簡易水道等整備推進事業【予算 104,468千円】

簡易水道等整備推進事業

・市町村が整備する簡易水道事業等の公債費に対し補助

対象市町村 十津川村外12市町村22事業

簡易水道事業等災害復旧事業

・紀伊半島大水害による簡易水道施設等の災害復旧事業の公債費に対し補助

対象市町村 天川村外2村3事業

⑤ごみ処理広域化奈良モデル推進事業【予算 325,622千円】

複数市町村が連携して実施するゴミ処理施設の整備に対し補助

・さくら広域環境衛生組合、宇陀地域ごみ処理広域化推進協議会

⑥県域水道ファシリティマネジメント推進事業【予算 598,925千円】

市町村水道の水源の県営水道への転換及び市町村水道との連携に伴う送水施設等の整備

力強い市町村づくり

(2) 市町村行政経営向上への取組支援等

◇取組内容

○市町村行政経営向上への取組支援

○地域デジタル化の推進

【令和6年度 主な取組】

①市町村振興資金貸付事業【予算 2,700,000千円】

- ・市町村が住民福祉の増進等を図るために行う事業に対する貸付
貸付対象 一般地域振興事業、広域振興事業、過疎・辺地等振興事業、県重点施策支援事業、公債費適正化事業
- ・「重症警報」発令団体に対する財政支援のための無利子貸付

②南部・東部地域の市町村職員等人材確保・育成事業【予算 5,000千円】

南部・東部地域の市町村職員等の人材確保・育成に向け、県と市町村が協働して、施策推進等の能力向上や専門職員向けの研修会を開催

③南部・東部地域デジタル化支援事業【予算 5,000千円】

再掲

地域の課題やニーズに応じたデジタルサービスを地域住民等が体感できる場として「奥大和デジタルメッセ」を開催し、コミュニティの活性化や地域振興に寄与するデジタル化を促進

④(新)地域デジタルデバイド対策支援事業【予算 7,500千円】

美しい南部東部振興課の地域支援員と連携し、地域のお困りごとや課題の解決に向けたデジタル化に取り組む市町村を支援

⑤デジタル版奈良モデル推進事業【予算 20,000千円】

再掲

入札参加資格審査手続の標準化・共同化に関する調査研究を実施し、各市町村の業務効率化を支援

⑥情報連携基盤による行政サービスの変革推進事業【予算 353,576千円】

- ・情報連携基盤（奈良スーパーアプリ）の運用・機能追加
- ・市町村業務における奈良スーパーアプリの活用を推進

力強い市町村づくり

(1) 「奈良モデル」の実行 (2) 市町村行政経営向上への取組支援等

R5年度
取組

- 市町村と連携したまちづくりの推進
- 市町村行政経営向上への取組支援
- 「奈良モデル」の推進
- 地域デジタル化の推進

○南部・東部市町村とのまちづくり連携協定に基づくまちづくりの推進

南部・東部地域における基本計画策定市町村 山添村（西豊地区）

（1村1地区）

南部・東部地域における個別協定締結市町村 五條市（2事業）、御所市（1事業）、
（4市村6事業） 宇陀市（1事業）、山添村（2事業）

○市町村税の税収強化

県と市町村が相互に徴収職員を派遣（御所市、宇陀市）

※令和4年10月から令和6年3月に実施

○市町村管理道路施設の老朽化対策

市町村が管理する道路施設の点検・診断及び修繕工事を垂直補完・水平補完により支援

○南部・東部地域の市町村職員等人材確保・育成事業

【政策立案研修（2月26日 場所 東吉野村）】

地域課題の「対象者」と「本質的な原因」を考えるワークショップを実施

南部・東部市町村職員 21名参加

【ドローン活用研修（3月15日 場所 五條市）】

ドローンの法規制とライセンス制度

ドローン等を用いた各種DX活用事例紹介 等

南部・東部市町村職員 26名参加



ドローン活用研修

○地域デジタル化戦略推進事業

スマートフォン等デジタル機器についての相談対応や講習を行うことができる人材を育成

（御杖村、明日香村、吉野町）

デジタルデバイドの実証事業を希望する市町村を支援（下市町）

○奈良県フォレスター派遣実績（7市町村7名）

奈良県フォレスターアカデミーで、県職員として学んだ森林管理職を、

卒業後に市町村の要請を受けて、奈良県フォレスターとして同一市町村に長期滞在で派遣

（五條市、吉野町、黒滝村、野迫川村、十津川村、川上村、東吉野村）

○県域水道ファシリティマネジメント推進事業

宇陀市水道の水源の県営水道への転換及び宇陀市水道との連携に向けた、送水管路の布設工事
の実施（令和6年度未完了予定）

（宇陀市（旧榛原町域））